

国民民主党滋賀県第一区総支部長として活動を続ける 斎藤アレックスの政治にける思いを紹介させていただきます。

SAITO ALEX

国民民主党 滋賀県第1区 大津市、高島市 総支部長

さいとう
斎藤

アレックス

36
歳

経歴
2008年 同志社大学 経済学部卒業後
大和証券SMB株式会社入社
2012年 SMBC日興証券株式会社入社
2013年 公益財団法人松下政経塾 入塾
2016年 アメリカ連邦議会 フレイシュマン下院議員事務所 フェロー
2017年 ボノス株式会社入社
衆議院議員 前原誠司事務所 秘書
2019年 国民民主党滋賀県第1区総支部 総支部長
2020年 国民民主党滋賀県連 代表

未来への責任、
今を変える勇氣。

政治と、日本を前に動かす

新型コロナウイルスの影響で世界の経済は大きく低迷しましたが、日本は、**コロナの前から、長期低迷に陥り、国力が低下し続けています。**1989年間から4年連続1位だった国際競争力ランキングは、今やシンガポールや中国にも抜かれて34位、実質賃金指数も1996年をピークに下がり続けています。賃金が下がれば年金も下がります。格差も広がり、**今を生きることに精一杯な人も増えています。**

私、斎藤アレックスも、日本の長期低迷が始まった1990年代の終わりごろ、私が中学生だったころから母子家庭となり、母が朝から晩までパートを掛け持ちしながら大変な状況下で私を育ててくれました。この少年期の経験が、私の政治活動の原点となっていて、**日本経済の長期低迷を打破したい、国民生活を良くする政治を実現したい、**という思いで活動を続けています。

私たち国民民主党と斎藤アレックスは、右に挙げたように、**与党に先駆けてコロナ対策の充実を先手先手で提案し、対策の強化に繋げてきました。**これからも、「**対決より解決**」の信念で、もう一度、立ちすくんだままの政治と、日本を前に動かします。

まず、**コロナで傷ついた生活と事業を救済するため50兆円の「家計第一」の緊急経済対策を講じます。**あわせて、今後10年間で、環境やデジタル、老朽インフラなど未来への投資に50兆円を投資し「**給料が上がる経済**」を実現します。さらに、新たに創設する「**教育国債**」を10年間で50兆円発行し、他国に比べて見劣りする教育・科学技術予算を倍増させ、「**人づくりこそ国づくり**」の理念を実現します。

私たちは、未来を先取りする「**新しい答え**」で、閉塞感の漂う日本を動かしていきます。皆さんの応援、よろしくお願いします。

国民民主党滋賀県第一区総支部長

斎藤アレックス

国民民主党の「コロナ対策」の提案と実績



共に活動しています!



第66代衆議院副議長
前衆議院議員(滋賀県第1区)

川端 達夫

参議院議員(滋賀県選挙区)
前滋賀県知事

嘉田 由紀子

連合滋賀 会長

柿迫 博

プロフィール 齋藤アレックス支部長のこれまでの歩みをご紹介します。

1 少年時代

スペイン人の父が大阪でスペイン料理レストランを営んでいた関係で、大阪で育ちました。

そのレストランも、日本の景気が極めて悪化した1990年代末に閉めることになり、父は新たな仕事に就くためにスペインに帰国。その後は、母親が朝から晩までパートを掛け持ちしながら育ててくれ、大学まで進学をさせて頂きました。

日本の景気の悪化で家計が激変するという少年時代の経験が、日本の経済低迷や社会保障制度に対する問題意識を持つきっかけとなり、私の政治活動の原点となっています。



幼稚園の頃



小学校の卒業式、母と

2 会社員時代

同志社大学経済学部を卒業後、証券会社に入社し、企業の買収や合併を担当しました。入社して数カ月でリーマンショックが発生。証券会社にとっては厳しい時代でした。もっとも、入社1年目の私自身に直接影響があったわけではなく、延べ5年間に亘り優秀な先輩方や同期に囲まれて、有意義な社会人生活を送らせていただきました。

リーマンショックを経て、日本企業の経営状況が一層悪化したことで、リストラを伴う案件を担当することも多く、日本の経済・財政、そしてそれを土台とする社会保障制度の先行きに強い危機感をもつようになります。

3 松下政経塾

政治家になり、日本の経済財政、社会保障を立て直したいとの志を固めて、松下政経塾に入塾。4年間の間、社会に尽くそうという同じ志を持つ同期や先輩・後輩の塾生とともに研修、研究に励みました。

松下政経塾在塾中に、ワシントンDCにて米国政治、米国のベンチャー政策などの研究を実施し、その間、フレイシュマン下院議員事務所勤務するという極めて貴重な経験をえました。

米国議会での経験を含めて、松下政経塾在塾中に得た様々な知見やご縁が、現在の政治活動の土台となっています。



政経塾の同期と



フレイシュマン米下院議員と

4 政治活動

松下政経塾を卒業する際に、当時の民進党にて政治活動を行うという決意を固め、松下政経塾の先輩でもある、前原誠司衆議院議員の秘書として京都事務所で勤務をさせて頂くことになりました。お隣、京都2区の前原議員には、これからもご指導ご鞭撻を頂きながら活動を続けていきたいと思っております。

秘書としての勤務を経験した後、国政選挙を目指して政治活動を開始し、今日に至ります。



前原誠司衆議院議員の秘書として勤務



滋賀1区擁立決定時の川端顧問との記者会見



「正直な政治」をつらぬく

日本に一番欠けているものは「正直な政治」です。ウソをついたりごまかしたりする政治を改めます。公文書の改ざん等に対する罰則を導入します。若者や女性の多様な声を反映し、安心の年金制度で老後や将来に希望の持てる国にします。



「危機から守る」

新たな感染症、気候変動による自然災害や食料危機、厳しさを増す国際環境など、様々な危機を「想定外」とすることなく、経済、エネルギー、食料、防衛等を含めた広義の安全保障政策に万全を期し、国民と国土を守り抜きます。



「人づくり」こそ国づくり

教育や科学技術分野の予算を「教育国債」で確保し、幼稚園・保育園から高校までの教育無償化をはじめ、「人づくり」を国の最重要政策として進めます。こうした取り組みを行っている他の先進国では、結果として出生率が改善されています。



「給料が上がる経済」を実現

実質賃金を上昇させるため、名目賃金上昇率が一定水準(物価上昇率+2%)に達するまで、「大規模、長期、計画的」な産業政策と消費力を高める「家計第一の経済政策」を継続し、中間層を復活させる「令和の好循環」をつくり出します。



「積極財政」に転換

需要が供給を上回る状態にして消費や投資を活性化し、労働需給が好転し、賃金が上昇する「高圧経済」を実現します。コロナ禍の影響を受けた個人や事業者のために、50兆円規模(需給ギャップ+α)の緊急経済対策を実施します。

国民民主党の日本を動かす 政策の5本柱



活動履歴

- 平日は毎朝街頭活動を行っています。
- 大津市に対してワクチン接種に関する申し入れを実施。
- 滋賀県内の学校で出前授業を行っています。
- コロナウイルス対策について滋賀県知事に申し入れ

LINE 齋藤アレックス 公式LINE

ホームページ | ツイッター | インスタグラム | フェイスブック | ユーチューブ

国民民主党 滋賀県連のメンバー

常任顧問 川端 達夫	代表 齋藤 アレックス	副代表 草津市議 土肥 浩資	幹事長 滋賀県議 河井 昭成	幹事長代理 大津市議 船本 力	副幹事長 大津市議 奥村 功	副幹事長 大津市議 田中 知久	副幹事長 高島市議 早川 浩徳
---------------	----------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------